

あなたは、本当の愛を知っていますか？一人一人が様々な人生を送ってきてそれぞれの価値観を培ってきたでしょう。それは素晴らしいことですが、その価値観やプライドによって、聞くべき大切な事が聞けなくなっているませんか？今はクリスマスです。不要な価値観やプライドはクリスマスツリーにかけましょう。クリスマスツリーの綺麗な飾りは私たちが心の中で、もしくは実際に犯した罪です。その罪をクリスマスツリーに架けることで、「このように汚かったものが綺麗になる・変えられる」と言う意味が込められています。クリスマスツリーはイエス・キリストの十字架を意味しています。木の緑は、永遠に変わらないイエス・キリストの愛を意味しています。一番上の星は暗闇の中で生きる私たちの光が生まれた…聖書の中では東方の三博士らがこの星の出現を見つけることを通してイエス・キリストの最初の礼拝者になった場面があります。礼拝に最初に来た人たちは羊飼いでした。羊飼いだというのは非常に見下されて差別されていた人たちでした。しかしその人たちに最初に良い知らせが届いたのです。(ルカ2:11) こう聞いた時に羊飼いたちは喜んで羊の番をしていたことも忘れて一目散にイエス・キリストを礼拝しに行きます。この後来たのが東方の三博士たちです。羊飼いたちは、過去の様々な苦しみを変えられるために礼拝しに来ました。東方の三博士らは星に導かれてまだ見えない先のことを変えられに礼拝しにきました。私たちは今、どちら側でしょう？将来に希望をもちたくてこの場にきたのでしょうか？しかし、現状や過去今から少し前にさかのぼって自らの人生に重荷を抱いて、その重荷を取り除いて欲しい礼拝者なのでしょうか？神さまは、どちらの礼拝者にも将来と希望を与えるためにこのクリスマスにお生まれになったのです。私たちが愛されている証拠です。「神のなさることは時になくなって美しい」しかし私たちに、その一つ一つのことが、どういう意味をもっているのか見極めることはその時にはできません。しかし何年も何年も経ってその意味が解らなかつたことが実を結んで返ってきます。しかし、もしも、その愛を・自分が赦された者だということを知らなかつたら愛を他方へ流すことができるのでしょうか？あなたは愛された・赦された経験がありますか？この世で、赦されたことの無い人・愛されたことの無い人はいません。しかし私たちはそれを忘れてしまいます。あなたの誕生日はあなたが生まれてきてくれたことを家族や多くの人が喜び日です。このクリスマスは何を確認する時でしょうか？それは、あなたが愛されたということを確認する日です。私たちは毎日後悔の連続です。これが続くと「自分の人生はつらかった」で終わってしまいます。しかし、このクリスマスに「自分は愛されるために生まれた・自分を愛してくれたがいた」と思い、私たちが人生をもう一度改めて愛を流そうと後悔の思いから考えを改める時がクリスマスです。そしてその愛を受け取ると私たちの人生は大きく変わります。愛を受け取ると**①あなたの過去が変わります**。今までのこと…思い出せばつらいことばかり…あなたの今までの人生は辛かったですか？教会ではあなたの心を隠す必要はありません。開くところです。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ11:28)これが、聖書の中でイエス・キリストが言ったことです。あなたが重荷をここに置いて帰らないとイエス・キリストが何のために十字架にかかったのか、そしてクリスマスツリーを飾ったのか意味が無くなってしまいます。あなたの苦しみは置いて帰り、自分は赦されたことを覚えて愛されたことを信じて帰ってください。すると今日からあなたの人生は変わります。そしてあなたが変わることであなたの周りが変わります。私たちは人を指さして「あいつが悪いんだ」と言っていますが、その人が悪いのではなく、その指さした私たちの行動がその人を傷つけ、その人から私たちにその傷つけた行動が返ってきているだけなのです。聖書で言う罪は、私たちが自らの心の中心に居ようとするその心を罪だと言っています。この世の中冷め切っていて誰もが自分が中心にいたいと思っています。そう思っている人の中で誰が私たちに愛を流してくれるのでしょうか？愛が欲しいと思っている人が他に愛を流せるのでしょうか。欲しい欲しいと言っている人が他人のほしがっているものをあげるのでしょうか？それが世の全員だったらどうでしょう。誰一人愛を受けることができません。聖書に「しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるのか。徴税人でも、同じことをしているではないか」(マタイ5:44-46)と書いてあります。神さまは愛しなさい、そして自分を愛するごとく隣人を愛しなさい(マタイ22:39)右の頬を打つような者には左の頬も向けなさい(マタイ5:39)と言われました。一人の人が変えられることを通してみんなが変わります。一人の人が愛を受けることでみんなの過去が変わりました。過去が変わることで明日からが変わったんです。みなさんの過去はどうですか？新しくされているのでしょうか？「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(Ⅱコリ5:17) 私たちはいつも後悔の念にかられているのではないのでしょうか。しかし今日からは後悔の念から脱出しましょう。後悔の土台に生きる人生ではなく幸せの土台に生きる人生に変えてきましょう。イエス・キリストの愛は私たちの過去の後悔を取り去るためにあったのです。愛を受けると**②あなたから愛が流れます**。流そうと思わなくても流れます。聖書の中で姦淫の現場で捕らえられる女の話がでできます。(ヨハネ8:3~11)(ルカ7:37~47)この女は石打の死刑にされるどころでしたがイエス・キリストによって赦されます。しばらく経ってイエス・キリストが十字架にかかる前の夜、彼女はイエス・キリストのもとにやって来て高級な香油で足を洗います。弟子たちはそれを見て「なんだこの女は？」と思いますが、イエス・キリストは「彼女は多く赦されたから多く愛したのです。」と言われます。赦されるというのはこのような力があるのです。私たちの内側から流れてくるのです。愛されることを通して人々に愛が流されるのです。人より先に愛を流せとは言いません。しかし、もしも今までに愛を受けたのならその受けた恵みの中から愛を流してください。そして愛を知ると**③愛はあなたに返るのです**。私たちが自らに死ぬことによって・自分の思いに死ぬことを通して・自我や傲慢な思いに死ぬことによってその実が100倍に結ばれるのです。30倍60倍100倍になって私たちに返ってきます。私たちは、そのイエス・キリストの愛を今日覚えましょう。私たちがこの愛を知ることによって私たちの人生は実を結び人生へと変えられていきます。聖書にこうあります。(マタイ25:34~40)過去を振り返ってみてください。自分を通して幸せになった人がいるのでしょうか？自分を通して自分の周りの人が生かされているのでしょうか？もしも受けるだけの人生だったら自分を通して幸せになった人・自分を通して生かされている人はいないでしょう。私たちはイエス・キリストの歴史(ヒズ・ストーリー=ヒストリー)を受け継いでその道を歩いています。今私たちも多くの人が愛を受けて教会に集っているのです。そしてその最初がイエス・キリストです。彼自らの無罪を主張することなく十字架にかかりました。極悪人とともにかけられました。この極悪人の一人はイエスさまに十字架の上で会い自分の汚さを知りました。赦されるためには自分の汚さを知らなければいけません。自分が愛されたということを知らなければいけません。この極悪人は隣にいるイエスさまから愛を知りました。だから自らを見ることができました。この十字架は自分を見るための鏡です。私たちが今まで生きてきてどんな人生を歩んできたのでしょうか？確かに辛いこと悲しいこと痛み…たくさんあったでしょう。しかしそれと同じくらい、自分の自我のせいで周りの人々を痛め傷つけてきました。それが今自分に返ってきています。ですから私たちは今日それを新たにしていかななくてははいけません。やられたからやり返す人生ではなく、私たちが良いものを流されたから良いものを与える人生へと変えられるべきです。そうすると私たちの人生は変えられます。私たちの人生がクリスマスツリーの飾りのように光り輝くものとなり、自分が赦された者・愛された者だと確信する人生に変わるようにしましょう。(要約者：行司佳世)